

事業名 CD	0103020203	ひとり親家庭医療費助成事業
細分化した事業名	0	
事業担当課室 CD	200100	市民課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	子どもを安心して生き、育てられる社会の実現	
	中項目	子育て支援の充実	
	小項目	0	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	山梨県ひとり親家庭医療費助成事業実施要綱、山梨県ひとり親家庭医療費助成事業補助金交付要綱
関連する事業	乳幼児医療費助成事業・重度心身障害者医療費助成事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	ひとり親家庭の医療費を助成することにより、経済的負担を軽減し、保健の向上と福祉の増進を図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	対象者→ひとり親家庭の18歳に達する日の最初の3/31までにある児童及びその児童の父又は母又は養育者 対象医療費→上記対象対象者の医療費自己負担分 (自己負担分→小学校入学前=2割、7歳から69歳まで=3割、70歳以上=2割)
これまでの改善経過	H20 窓口無料化 事業費実績 H17:6,175千円 H18:5,947千円
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ○委託 ○補助金 ○その他(0) 対象 ・県補助=医療費助成した額の1/2 ・申請期間・・・受診した日の翌月より2年間
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・ひとり親家庭にかかる経済的負担の軽減と医療の充実

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	7,385	10,749	12,368
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	3,693	5,395	6,145
	市債			
	その他			
	一般財源	3,692	5,354	6,223
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.27	0.27	0.27
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,863	1,865	1,842
D	総事業費(A+C) (千円)	9,248	12,614	14,210
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	443 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	助成対象人数	年度末対象者(人)	425	440	500
	助成件数	年間総件数(件)	3,255	4,668	5,179
	助成金額	年間総助成金額(千円)	7,385	10,749	12,368
成果指標	対象者1人あたり年間利用件数(件) (算出式数値)	助成件数/助成対象人数 5,179件/500人	7.66	10.61	10.36
	1件当たりの助成金額(円) (算出式数値)	年間総助成金額/総助成件数 12,368千円/5,179件	2,269	2,303	2,388
効率指標	1人当たりの費用額(円) (算出式数値)	総事業費/助成対象人数 14,210千円/500人	21,760	28,668	28,420
	1件当たりの費用額(円) (算出式数値)	総事業費/総助成件数 14,210千円/5,179件	2,841	2,702	2,744

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ・ひとり親家庭医療費助成制度は、子育て支援や医療受診の充実・経済的負担の軽減からも妥当である。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない ・助成を行うことで経済負担の軽減が図られている。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない ・効率的である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 円滑な事業推進	(2) 23年度 円滑な事業推進
	(3) 22年度 円滑な事業推進	
	21年度の改善計画	
	21年度の改善結果	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)		
課長所見	全県下による少子化対策事業であり、その成果が上がっているので継続実施	